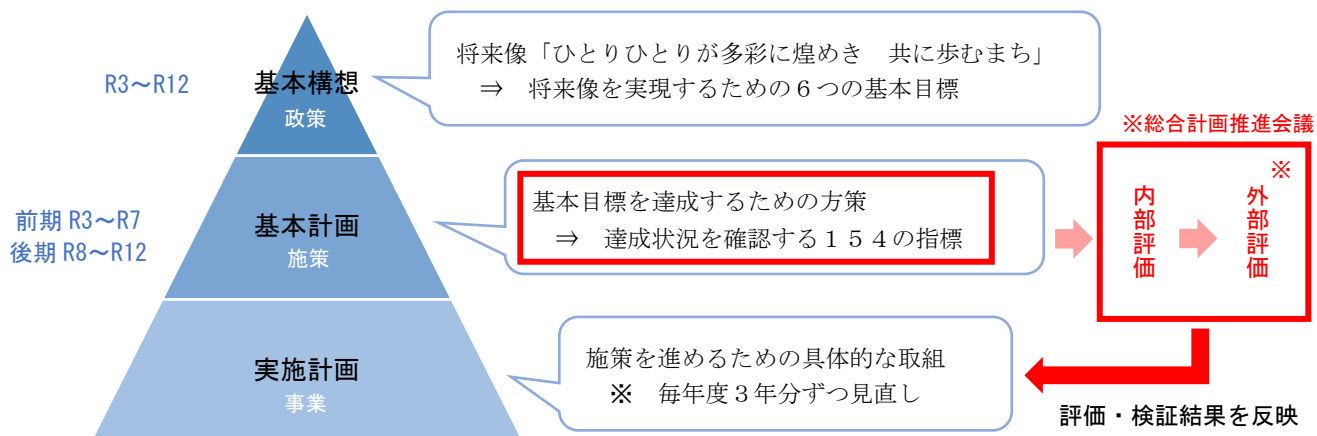


第 2 次石巻市総合計画 地方創生関係交付金 施策評価結果（令和 5 年度実績）【概要】

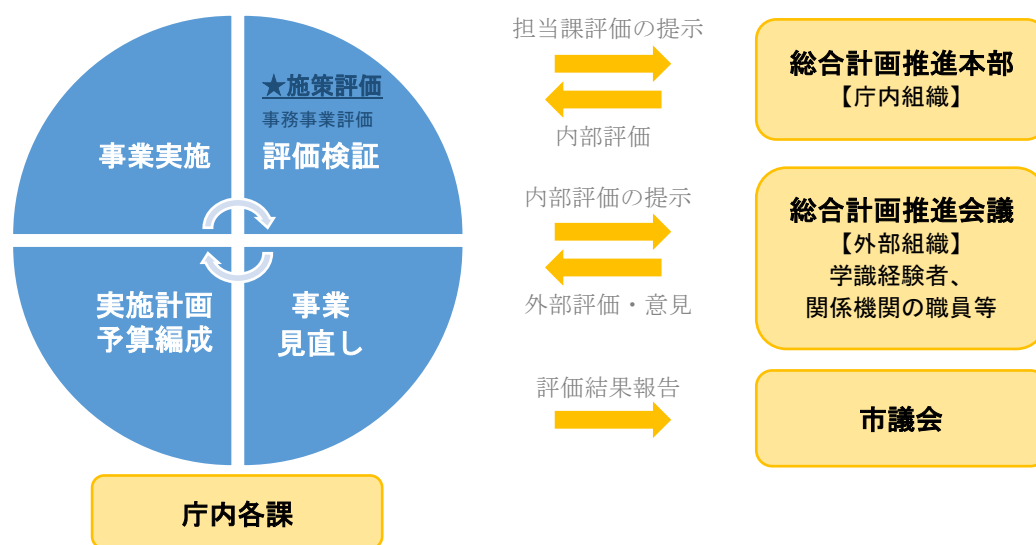
第 2 次石巻市総合計画	1
総合計画基本計画	6
第 2 期 復興・創生期間に係る対応方針	17
地方創生の取組	18
地方創生関係交付金	22
地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金	22
企業版ふるさと納税	23

1 総合計画の進捗管理

令和3年9月に策定した第2次石巻市総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成しています。
前期基本計画では、将来像及び6つの基本目標の達成に向けた基本施策を定めており、その達成状況を毎年度評価・検証することにより、施策の進捗管理を行います。



2 前期基本計画の推進体制



3 令和6年度会議開催状況

日程	会議	内容
5月30日(木)	第1回 石巻市総合計画推進本部幹事会	内部評価
6月6日(木)	〃 石巻市総合計画推進本部会議	
6月27日(木)	第1回 石巻市総合計画推進会議	外部評価
7月3日(水)	第2回 〃	
7月8日(月)	第3回 〃	
8月19日(月)	第2回 石巻市総合計画推進本部幹事会	評価結果報告
8月20日(火)	〃 石巻市総合計画推進本部会議	

4 評価・検証方法

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

評価シートの見方

章	
節	
数値目標 (KGI)	
目標値の考え方	第2次石巻市総合計画策定に係る市民意識調査（令和元年11月～12月実施）の結果を参考に、計画の最終年度である令和7年度の目標値を設定しています。
設定値 (%)	R3 (基準値) ⇒ R7 (最終目標値)
	⇒

■節の達成状況

主な担当課																											
関係課																											
令和5年度の主な取組や成果																											
②【基本計画】各KPIの達成度 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上 【復興創生・地方創生】各KGIの達成度 ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）																											
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性																									
④定量評価と定性評価を掛け合わせた評価 A：順調 B：概ね順調 C：やや遅れている D：遅れている <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">定性評価</th></tr><tr><th>◎</th><th>○</th><th>×</th></tr><tr><th rowspan="4">定量評価</th><th>◎</th><td>A</td><td>A</td><td>B</td></tr><tr><th>○</th><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr><tr><th>△</th><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><th>×</th><td>C</td><td>D</td><td>D</td></tr></table>				定性評価			◎	○	×	定量評価	◎	A	A	B	○	A	B	C	△	B	C	D	×	C	D	D	③担当課において3段階で評価 ◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない
				定性評価																							
		◎	○	×																							
定量評価	◎	A	A	B																							
	○	A	B	C																							
	△	B	C	D																							
	×	C	D	D																							
内部評価	定性評価	定量評価																									
④	③	②																									

■委員使用欄

外部評価	【評価の視点】 ○内部評価の妥当性（市の施策と市民目線がかけ離れていないか） ○遅れている施策（CまたはD）を推し進めるための意見 【評価方法】 以下の基準により各委員から評価をいただき、最も多い評価を外部評価としました。 A：順調、B：概ね順調、C：やや遅れている、D：遅れている
------	---

細 節							
重要業績評価指標 (KPI)						担当部課	
指標の考え方	設定した指標の達成状況を確認することで、どのような効果を測るのか記載しています。						
目標値の考え方	設定した目標値の根拠を記載しています。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 ()							
実績 ()				-	-	R5達成度	
達成率	-			-	-		
細 節							
重要業績評価指標 (KPI)						担当部課	
指標の考え方							
【達成率】 R5実績値及び目標値から達成率を算出しています。 ①増加や維持が目標：実績値／目標値 ②減少や抑制が目標：目標値／実績値 →②は実績値が低い程、達成率が上がります。 その場合、達成率の右側に「※」を表記しています。							
目標				R6	R7(最終)	再掲	
実績				-	-	R5達成度	
達成率 ※	-			-	-		
細 節							
重要業績評価指標 (KPI)							
指標の考え方	①達成率から以下の4段階に分類しています。 a : 100%～ b : 80～99% c : 60～79% d : ～59%						
目標値の考え方	【再掲】 「地方創生の取組」においても同じ指標を設定している場合には該当ページを表記しています。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 ()							
実績 ()				-	-	R5達成度	
達成率	-			-	-		

内部評価

定量評価	① 達成度：指標の目標値に対する達成率から a ～ d の 4 段階に分類しました。 a：100%以上、b：80～99%、c：60～79%、d：～59% ② 各指標の①「達成度」から4段階で評価 <table> <tr> <td> 基本計画 各KPIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上 </td><td> 復興創生／地方創生 各KGIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd） ※括弧内はKGIが2つの場合 </td></tr> </table>	基本計画 各KPIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上	復興創生／地方創生 各KGIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd） ※括弧内はKGIが2つの場合																							
基本計画 各KPIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上	復興創生／地方創生 各KGIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd） ※括弧内はKGIが2つの場合																									
定性評価	③ 施策の効果や取組状況から担当課において3段階で評価しました。 ◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない																									
④ 定性評価と定量評価を掛け合わせた右の基準から市の「内部評価」を決定しました。 A：順調 B：概ね順調 C：やや遅れている D：遅れている	<table> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">定性評価</th></tr> <tr> <th>◎</th><th>○</th><th>×</th></tr> <tr> <th rowspan="4">定量評価</th><th>◎</th><td>A</td><td>A</td><td>B</td></tr> <tr> <th>○</th><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr> <tr> <th>△</th><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr> <th>×</th><td>C</td><td>D</td><td>D</td></tr> </table>			定性評価			◎	○	×	定量評価	◎	A	A	B	○	A	B	C	△	B	C	D	×	C	D	D
				定性評価																						
		◎	○	×																						
定量評価	◎	A	A	B																						
	○	A	B	C																						
	△	B	C	D																						
	×	C	D	D																						



外部委員評価

【総合計画推進会議】

施策の達成状況について、評価シートに基づき担当課より説明を行った後、質疑応答及び施策に対する御意見をいただきました。

【評価の視点】

- 内部評価の妥当性（市の施策と市民目線がかけ離れていないか）
- 遅れている施策（CまたはD）を推し進めるための意見

【評価方法】

以下の基準により各委員から評価をいただき、最も多い評価を外部評価としました。

A：順調、B：概ね順調、C：やや遅れている、D：遅れている

5 外部評価結果

(1) 集計

評価項目		A 順調	B 概ね順調	C やや 遅れている	D 遅れている
第2次石巻市総合計画		14 (13)	8 (11)	11 (9)	1 (2)
基本計画	第1章 住民同士の絆・支え合いで 安全安心に暮らせるまち（全6節）	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)
	第2章 都市と自然が調和し 快適とやすらぎが生まれるまち（全3節）	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)
	第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち 自分らしく健康に暮らせるまち（全5節）	2 (3)	1 (2)	2 (0)	0 (0)
	第4章 多彩な人材が活躍し 誇りと活気にあふれるまち（全6節）	3 (1)	1 (1)	2 (3)	0 (1)
	第5章 豊かな心を育み いのちを未来につなぐまち（全6節）	5 (4)	1 (1)	0 (0)	0 (1)
	第6章 市民の声が共鳴し 市民と行政が共に創るまち（全2節）	1 (0)	0 (2)	1 (0)	0 (0)
	小計（全28節）	13 (10)	6 (9)	9 (7)	0 (2)
復興創生	第1章 第2期 復興・創生期間に係る 対応方針（1対応方針）	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小計（1対応方針）	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
地方創生	第1章 人口戦略の推進（4対応方針）	0 (0)	1 (2)	2 (2)	1 (0)
	第2章 未来都市の実現（1対応方針）	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
	小計（5対応方針）	0 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (0)
地方創生関係交付金		0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (3)
地方創生推進交付金		0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)
地方創生拠点整備交付金		0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
企業版ふるさと納税		0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)

※括弧内は昨年度評価。

(2) 内訳 ※委員評価数は会議の出欠数等により委員数 25 名より少なくなっています。

① 第 2 次石巻市総合計画

【基本計画】第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち									
第1節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	19	0				
主な意見	会議などではなく、自治体で老若男女問わず集まれる機会をつくるなど、住民同士が知り合うきっかけづくりが必要。								
今後の方向性	住民自治組織交付金を活用した地区住民交流活動なども可能であることから、未設立の地区への自治組織設立を推進することにより、住民の顔を知るきっかけづくりを推進してまいります。								
第2節 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	◎
		A	B	C	D			定量評価	◎
		12	3	4	0				
主な意見	移住者に長く住んでもらうための施策が必要であり、それらを効果的に発信する必要がある。移住を希望している人が決めかねている可能性もあるため、移住フェアなどで生の声を積極的に聞き、応えていくことが重要。								
今後の方向性	都内で行われる移住定住イベントに積極的に参加し、移住希望者の生の声を聞く機会を設けております。 子育て世帯から住宅取得を検討している旨の問い合わせがあり、本市としても子育て世代の移住定住を促進するため、令和6年度より定住促進住宅取得等補助金の対象を15歳以下の子どもがいる子育て世帯に限定し、多子世帯には加算補助を行うなど、施策に反映しております。 今後も引き続き移住希望者の生の声を大事にし、より効果的な施策に繋げていきたいと考えております。								
第3節 安心して暮らすための地域防災力などの向上									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		0	19	0	0				
主な意見	防災訓練参加率の更なる向上を目指すため、内容をもっとよく考えてはいかがか。								
今後の方向性	検討段階ではありますが、大規模災害におけるペット同行避難を訓練に取り入れるといった新たな試みが、訓練の実効性の向上と参加者の増加に繋がるものと考えております。 訓練参加者アンケートや他自治体の例を参考にしながら、防災訓練の参加率の更なる増加を目指してまいります。								

第4節 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	1	17	1				
主な意見	本気で男女共同参画を考えているとは思えない。								
今後の方向性	第4次男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画の理念や推進の必要性を広く普及啓発するため、各種事業を実施しております。 今後も、地域、学校、職場、家庭などあらゆる分野における意識啓発を図るため、各種セミナーの開催や周知活動などを実施し、男女共同参画社会の推進に取り組んでまいります。								
第5節 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	◎
		A	B	C	D			定量評価	◎
		13	4	1	1				
主な意見	利用状況を精査し、利用者の多い区間の増便、場合によっては路線の廃止や統合も視野にいたした再編も必要かと思われる。								
今後の方向性	公共交通の利用促進を図りつつ、国県補助金などの財源を活用し、適切な公共交通の運行に努めております。 今後は人口減少等を背景とした利用者数の減少による減収減益や補助金の見直しも想定されることから、路線再編などを含め、本市の財政規模に見合った公共交通について、随時検討してまいります。								
第6節 未来につなぐ震災伝承の推進									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		2	17	0	0				
主な意見	市内の小中学校においても、震災を体験している児童生徒がほとんどいない状況であることから、震災遺構を活用した防災教育を取り入れるべき。								
今後の方向性	震災遺構を活用した出前講座メニューを開設し、市民はもとより小・中学校の防災学習への活用を促しているほか、夏休み期間中には震災遺構門脇小学校を会場に子ども向け防災学習行事を行うなど、震災遺構の活用と啓発の取り組みを行っております。 今後も様々な機会を通じ、教育委員会や伝承関係団体等と連携し、震災遺構の更なる活用を図ってまいります。								

【基本計画】第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち									
第1節 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		0	18	1	0				
主な意見	子どもの頃から環境問題に触れる機会を作ってはいかがか。								
今後の方向性	環境フェアにおいて、子供向けの講座を実施しているほか、こどもエコクラブでの活動で環境壁新聞を作成するなど、環境問題に触れる機会を設けております。 引き続き庁内関係部署と連携し、子どもたちが環境問題に触れる機会の創出に努めてまいります。								
第2節 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	19	0				
主な意見	プラスチックの分別収集について、少しでも早く実施するよう努力をしてほしい。								
今後の方向性	令和5年9月に向陽町二丁目第二及び大瓜井内の2地区をモデル地区として、プラスチックごみの分別収集等に向けた実証実験を行いました。 実証実験での結果を踏まえ、想定される排出量や収集回数、再商品化ルート等について検討を行い、令和8年度以降の実施に向けた準備を進めております。								

第3節 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	1	18	0				
主な意見	空家等管理活用支援法人の指定など官民が連携し、空き家の有効活用を検討してほしい。								
今後の方向性	空き家の利活用等を図るため、宮城県宅地建物取引業協会及び全日本不動産協会宮城県本部と協定を締結し、「石巻市空き家バンク」の円滑な運営体制を整備しているほか、宮城県司法書士会や宮城県建築士会等と連携し「空き家無料相談会」を実施しております。 引き続き官民連携を強化し、空き家の有効活用に取り組んでまいります。								

【基本計画】第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち

第1節 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実

外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		0	17	1	0				
主な意見	産婦人科の病院が少ないのは問題であり、誘致等により病院の選択肢を増やす必要がある。								
今後の方向性	令和6年度より、産科医及び小児科医等の不足解消を目的として、新たに医療施設を開設する医師又は法人に対し、開設費用の補助を行う「医療施設開設支援事業補助金制度」を創設し、開設を検討する医療機関からの相談等を受けております。 引き続き制度をPRしながら、医療提供体制の維持向上に努めてまいります。								

第2節 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実

外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	1	17	0				
主な意見	高齢者は一人暮らしの世帯が多く、介護認定を受けていない方も多いと推察される。家族が遠方に暮らしていると、本人も心配をかけたくないために、元気だと言い、情報も受け取ろうとしないで、介護サービスや各種の支援を受けていないケースも多いと思われる。今後は、それらの方々の状況把握も必要になってくると思われる。								
今後の方向性	市内12地区に配置している地域包括支援センターと連携して状況を把握しており、個々のケースの状況に応じて、関係機関及び関係課で解決に向けた検討を行い、様々な支援へとつなげているところです。 今後も状況把握に努め、適切に支援してまいります。								

第3節 共に安心して暮らせる障害福祉の充実

外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		13	4	1	0				
主な意見	小学生のうちからインクルーシブ教育を充実させ、思いやりの気持ちを育むような体制が必要。								
今後の方向性	小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が、学習活動や各種行事等において、交流学級の仲間たちとともに活動することで、互いを認め合いながら学校生活を送っております。 また、石巻支援学校に通学する児童生徒が、居住地域の小中学生と一緒に活動する「居住地校学習」も行っております。 引き続き、すべての教育活動をとらえて、障害の有無にかかわらず個々を尊重する気持ちを育んでまいります。								

第4節 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		14	4	0	0				
主な意見	働きながら治療を続ける環境整備ができていない。相談窓口に両立支援コーディネーターを設置するべきではないか。								
今後の方向性	治療と就労の両立支援については、「独立行政法人労働者健康安全機構 宮城産業保健総合支援センター」及び同機構の地域窓口である「石巻地区地域産業保健センター」において相談等を行っております。 本市においては、企業等の関係者に対し、両立支援に係る普及啓発を行い、より理解を深めていただくことと併せ、両立支援体制の在り方について模索してまいります。								
第5節 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	18	0				
主な意見	奨学金返還支援はとても素晴らしい事業であるので、医療関係だけではなく、大学関係にしっかりと広報を行うべきである。								
今後の方向性	奨学金返還支援事業の周知については、市報、本市及び日本学生支援機構ホームページに掲載しているほか、石巻医師会、桃生郡医師会、石巻市社会福祉協議会、ハローワーク石巻、県内の医療・保育・福祉分野の学部を有する大学や専門学校など、計39団体に対し周知を依頼しているところです。 なお、令和6年度からは、新たに事業所や対象者の目に触れやすいSNSなどを活用し周知を図ってまいります。								

【基本計画】第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち									
第1節 賑わいと活気にあふれる商工業の振興									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	18	0				
主な意見	中心市街地の空き店舗の活用やチャレンジ店舗での起業促進も考えて欲しい。								
今後の方向性	第3期中心市街地活性化計画に基づき、中心市街地内の空き地空き店舗を事業のために購入または賃貸する中小企業や個人事業主を対象に、「空き地・空き店舗活用事業助成金」を交付しております。 また、創業支援等事業計画に基づき、金融機関、商工会及びまちづくり団体と連携し、創業希望者に対して、各種相談対応や様々なセミナーの開催のほか、創業支援補助金によるスタートアップ支援も実施しているところです。 現在、令和7年度から令和11年度を計画期間とする第4期石巻市中心市街地活性化基本計画策定に向けた検討を進めており、引き続き、中心市街地活性化に資する事業に取り組んでまいります。								
第2節 持続可能な漁業・水産加工業の振興									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	◎
		A	B	C	D			定量評価	△
		1	17	0	0				
主な意見	海水温の上昇による、水産物への影響が深刻になりつつある。しかるべき対策を早急に考える必要がある。								
今後の方向性	国の補助事業として、主たる加工原料を入手困難な魚種から漁獲量が豊富な魚種等に転換を図る事業や、海水温の記録的な高温等により被害を受けた漁業者の借入に係る償還利子補給補助金などがあります。 引き続き、漁業者等に対し、国・県等の様々な支援メニューを紹介するほか、関係機関等と連携しながらサポートしてまいります。								
第3節 魅力的な農林畜産業の振興									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	18	0				
主な意見	森林環境整備は国土保全の観点からも重要な事象であり、森林所有者の同意がとられない状況は問題だと考える。他地域も同様のため、国に当該状況を伝えるとともに具体的な対応策を強く求めるアプローチも必要に思える。								
今後の方向性	所有者不明土地の問題は国においても認識しており、森林経営管理法において、所有者不明私有林でも半年間公告すれば、経営管理権の委託に同意したとみなせる特例を設けておりますが、所有者不明を確定する調査に時間を要するため、間伐が進まなくなる課題が生じております。 このような状況について、国、県、関係団体と情報共有を行い、課題解決に取り組んでいるところであり、今後も、関係団体と協力し、事業の推進を図ってまいります。								

第4節 地域資源を活かした観光事業の振興									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	◎
		A	B	C	D			定量評価	◎
		14	4	0	0				
主な意見		個々の観光資源をジャンルや特性に応じて一体化させ、点から線・面に拡大していく必要がある。重要なのは、石巻市がどのような観光を目指しているのかというコンセプトをしっかりと持つことである。							
今後の方向性		多彩な観光資源を活かした、「住んでよし、訪れてよし」の観光地づくりを目指し、市外からの誘客推進による外貨の獲得及び内需観光を効果的に推進し、稼げる観光地づくりを進めてまいります。							
第5節 企業誘致の推進と新たな産業の創出									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		13	5	0	0				
主な意見		企業誘致について、本市のセールスポイントを明確化する必要がある。							
今後の方向性		本市は、国際拠点港湾仙台塩釜港石巻港区を有し、三陸縦貫自動車道 I C が市内に3箇所整備されていることから、海路・陸路とも良好な交通アクセス網が整備確保されております。また、本市独自のインセンティブである石巻市企業立地等促進条例に基づく各種助成制度や、立地企業に対して使用電気料金の一部を交付する原子力発電施設等周辺地域企業立地支援給付金等の優遇制度が活用できるメリットを併せた立地環境を P R しながら、誘致活動に取り組んでいるところです。立地には企業側の設備投資のタイミングも重要となることから、適時を逃さぬよう、企業を積極的に訪問し、本市への立地を推進してまいります。							
第6節 未来の産業を担う人材の確保と育成									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		12	6	0	0				
主な意見		企業訪問や企業見学、インターンシップや出前授業など、地元子どもたちが言葉ではなく、実際に見て学ぶ研修の機会が必要。企業への協力を促してほしい。							
今後の方向性		就職希望の高校生を対象に企業見学ツアーを実施しているほか、合同企業説明会や就職面接会を開催しており、令和5年度は合わせて市内企業90社が参加しているほか、多くの企業においてインターンシップの受入をしていただいております。 また、小学校では市内企業等の見学、中学校では職場体験や市内の産業について講話、企業訪問を実施しております。 今後も、児童・生徒が地域の産業などに触れる機会を創出し、実際の職場環境や業務内容を体感することで地元就職につなげるとともに、企業と協力しながら、引き続き実施してまいります。							

【基本計画】第5章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち									
第1節 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A 15	B 2	C 0	D 0			定量評価	◎
主な意見	教育環境の整備については、ニーズに対応できているかが重要。ニーズを把握することが必要ではないか。								
今後の方向性	市教委と学校現場との各種会議等のほか、随時現場からの修繕依頼書等による要望をデータベース化し、ニーズ把握に努めております。 引き続き現場の声を拾いながら、教育環境の整備を進めてまいります。								
第2節 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	◎
		A 12	B 4	C 1	D 0			定量評価	◎
主な意見	学生のころから様々な体験と勉強を通して、未来の選択肢を増やしていくことが必要。そのようなプログラムを継続して実施（または実施団体を支援）していただきたい。								
今後の方向性	昨年度は、主体的に生きる力と非認知能力の育成を目指し、わくわくフェスティバル（ダンスイベント）の開催、自ら目標を決めて取り組む「タブドリ祭り」等を実施しました。 今後は、震災遺構等を含めた公共施設見学等の体験活動を実施するほか、わくわくフェスティバルへの参加者を増やすために周知方法の改善を図り、より多くの子供たちが体験できる環境を整備してまいります。								
第3節 いのちを守る防災教育の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	◎
		A 14	B 2	C 1	D 0			定量評価	◎
主な意見	防災教育は、本市において、特に重要と感じている。教職員への研修はもちろんのこと、せっかくできている震災遺構を十分に活用して、子供たちに見て知ってもらうことを切望する。								
今後の方向性	震災遺構の見学や語り部・地域の方のお話を聞く活動等について、一部の小・中学校で実施しているところです。 今後につきましては、防災教育の充実を図るため、庁内関係部署と連携し、震災遺構の更なる活用を促進してまいります。								

第4節 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		10	7	0	0				
主な意見	ふるさと子どもカレッジ等の事業内容や参加者への呼びかけを工夫吟味して事業の充実を図ることが大切である。								
今後の方向性	事業内容について、学校や家庭では体験できないことを各地域や民間団体と連携しながら企画し、子どもたちにとって魅力ある事業を計画いたします。 また、より多くの方に参加いただけるよう、習い事や用事の多い土曜日ではなく、日曜日の開催も検討するほか、各地区からの参加者も募ることができるよう、集合場所を市役所本庁舎だけではなく、各事業に合わせて設定することについても検討いたします。								
第5節 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	◎
		A	B	C	D			定量評価	◎
		14	3	0	0				
主な意見	例えば「45分授業の場合」といったように、出前講座のプログラムを具体的に作ってはどうか。								
今後の方向性	出前授業の開催時間及び内容について、申込者と調整し、可能な限り要望に応じた講座内容を提供しております。 今後、ホームページやSNSでの広報活動を積極的に行い、申込みが少ないメニューに関して認知度の向上を図ってまいります。 また、メニュー内容をより具体的に記載し、地域や学校で活用できるよう工夫するほか、講座内容も受講者の要望を聞き取りながら作成してまいります。								
第6節 生涯にわたるスポーツ活動の推進									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		1	16	0	0				
主な意見	「いしのまき復興マラソン」への参加者減について憂慮している。「シーサイドマラソン」の二の舞にならないよう魅力ある事業にするために常に創意工夫していく必要がある。								
今後の方向性	参加者の満足度を高めるため、参加者や大会関係者からの意見等を踏まえ、大会のコンセプト、コース及び企画内容など大会全体の見直しを図っております。 また、参加者をはじめ、ボランティアや企業等、市民が一丸となって、「走る、観る、支える」といった様々な形で参加できる大会を目指してまいります。								

【基本計画】第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち									
第1節 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		13	4	0	0				
主な意見	LINEから揃える情報の充実と適切な頻度の更新を継続していただきたい。 また、せっかくインスタグラムがあるのだから、イベント情報などもっと頻繁に更新してほしい。「開催した」だと遅いので、開催予告も更新していただきたい。								
今後の方向性	市政情報は市民生活に直接関わることから、市報、ホームページ、ソーシャルメディアなど、多様な手段による発信を進めているところです。 引き続き、効果的な発信方法についても検討してまいります。 また、職員研修を通じて意識改革を進め、市民に分かりやすく伝える工夫、発信内容の充実を図ってまいります。								
第2節 持続可能な行財政運営の推進									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	2	14	1				
主な意見	石巻圏域の人口減少対策は喫緊の課題である。早急に具体的な対策を練り、実行に移すべきである。								
今後の方向性	石巻圏域の定住人口の維持と地域の活性化につなげていくため、令和4年度に石巻圏域定住自立圏共生ビジョンを策定し2市1町で連携し事業を推進しております。 事業の進捗に当たっては、民間、地域の関係者を交えた懇談会での意見を参考に毎年度課題の整理や情報交換を行っており、石巻圏域への人の流れの創出に向け引き続き連携して取り組んでまいります。								

対応方針1 災害に強いまちづくりに向けて復興事業を確実に推進する

令和4年度完了

対応方針2 活力ある地域社会の形成に向けて被災者の心の復興を推進する

外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		15	2	0	0				
主な意見	事業に参加する方は良いが、参加しない人（外に出ない引きこもっている人など）がどれ位いるのか把握することも必要ではないか。								
今後の方向性	孤立や引きこもりに限らず、実態の把握はとても困難ではありますが、心のケアや生きがいがいづくりに資するNPO等活動団体への支援補助の在り方について、検討してまいります。								

【地方創生の取組】第1章 人口戦略の推進									
対応方針1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる									
外部評価	D	委員評価数				内部評価	D	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	×
		1	0	3	13				
主な意見	若者の流出は年々進むばかりで、求人はあるのに、現場では人手不足のままという状態から脱出できていない 賃金は低いのに、労働環境が良くない（希望に沿わない）場合が多い。根本的に賃金をあげることは必要であるが、地元でのさまざまな働き方をもっと発信する必要があるのではないか。								
今後の方向性	求職者を対象とした合同企業説明会や高校生を対象とした企業見学ツアーを実施し、地元企業の採用担当者と直接対面できる場を設けることで、地元企業への理解促進及び地元企業への雇用につなげております。 引き続き関係機関と連携し、地元での働き方を発信する取組を行ってまいります。								
対応方針2 絆を大切に人が集まるまちをつくる									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	17	0				
主な意見	移住定住に関しては、様々な要因があり、現在の状況となっていると思う。本市全体で、取り組むべき課題であり、一時的な施策だけでは成果は得られないと思うので、今後、郷土愛を醸成する様々な取り組みを強化していく必要がある。								
今後の方向性	少子高齢化、人口減少を踏まえ、移住者のみならず定住者に対する施策についても力をいれるため、令和6年度に「若者との意見交換会」を開催し、地元に必要なことや地元の魅力、今後のまちづくりのアイデアについて意見交換を実施しております。 また、郷土愛の醸成や本市の魅力を市内外に伝えることを目的にロゴマークを作成し、様々なシティプロモーション事業を積極的に実施してまいります。								
対応方針3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	16	1				
主な意見	女性でも、職業を持ち、その仕事に生きがいを見出して働いている人が増えているので、仕事と結婚、子育てが両立できるような支援をする必要がある。								
今後の方向性	保育所における一時預かりや延長保育、休日夜間保育事業等のほか、児童クラブの設置や地域ぐるみの子育て支援としてのファミリーサポート事業等、仕事と結婚、子育てが両立できるよう各種支援を実施しているところですが、子育て世代をはじめ、幅広く意見を聞きながら、より利用しやすい環境を整備してまいります。								

対応方針 4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		0	16	1	0				
主な意見	市内バスの路線案内のタイムテーブル表を作成、配布してはいかがか。								
今後の方向性	各種バスのダイヤにつきましては、随時改正が行われていることから、より迅速かつ効果的な市ホームページなどの WEB による周知を行ってまいります。								

【地方創生の取組】第2章 未来都市の実現									
対応方針1 コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	×
		A	B	C	D			定量評価	◎
		0	15	2	0				
主な意見	グリーンスローモビリティについてはかなりの疑問が残る。失敗もあってもいいと考えるが、早々にやめるという決断も重要では。むしろ、公共交通で現在利用している民間バス会社や送迎支援をしている団体等へのエコ車両導入支援などの方が、早いのではないのか。								
今後の方向性	移動手段の一つとして利用されている方がおりますことから、配置されているのぞみ野及びあゆみ野地区住民の意見を伺いながら、事業の継続方針について検討してまいります。 また、エコ車両導入支援については、国において同様の事業を実施しておりますことから、相談があった際は、制度についてご案内してまいります。								

② 地方創生関係交付金

国からの交付金を活用して取り組む地方創生に資する事業について、その達成状況を毎年度評価・検証することにより、事業の改善を図ります。

平成27年度より「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において評価・検証を行っていましたが、令和3年度に石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略を第2次石巻市総合計画と一体的に策定したことから、引き続き「総合計画推進会議」において評価・検証を行います。

なお、評価・検証は、第2次石巻市総合計画と同様の方法で行います。

【地方創生推進交付金】宮城県移住支援・マッチング支援事業									
外部評価	D	委員評価数				内部評価	D	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	×
		0	0	2	15				
主な意見	他の市町との連携を深めたなかで県全体の底上げが必要かと思う。 長期的な視野で、起業家が集うまちづくりなどを行う必要がある。大学との連携なども必要である。								
今後の方向性	他の市町との連携については、定住自立圏共生ビジョンに基づき、東松島市及び女川町と連携して移住促進に取り組んでおり、それぞれの市町の魅力を生かして圏域への移住を促進しております。 石巻産業創造(株)と連携して、石巻専修大学の学生や石巻商業高校の生徒を対象に、創業を学ぶ機会を創出し、創業機運の醸成を図るセミナーを開催しており、令和5年度は10回開催し166名の参加がありました。 また、連携協定を結んでいる石巻専修大学とは、これまで産業振興や地域経済の発展に関する様々な場面での連携や助言をいただいているところであり、今後、この関係性を生かした関連企業の誘致や、新製品・新技術の研究・開発に関して大学と連携できるベンチャー企業の誘致など、引き続き大学側と意見交換をしながら誘致活動に取り組んでまいります。								

【地方創生拠点整備交付金】北限のオリーブ加工施設整備計画									
外部評価	D	委員評価数				内部評価	D	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	×
		0	0	3	14				
主な意見	オリーブの生産量が増加しつつある。石巻の特産になるような創意工夫が必要である。								
今後の方向性	現在、販売しているオリーブオイルは高品質で高価なため、一般消費者及び地元飲食店には中々受け入れて貰えない状況にあるので、令和6年度はサードブランドとして、熟した果実を搾油したオイルを生産し、お買い求めやすい価格帯での販売を検討しているほか、新漬けオリーブの生産販売等、更なるオリーブ果実や葉の活用についても事業者と連携し、研究してまいります。								

【企業版ふるさと納税】石巻市まち・ひと・しごと創生推進計画									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	16	1				
主な意見	地元就職割合が令和４年度に比べて大幅に減少しているため、対策をしていただきたい。								
今後の方向性	【基本計画】第４章第６節の今後の方向性（P13）にも記載 就職希望の高校生を対象に企業見学ツアーを実施しているほか、合同企業説明会や就職面接会を開催しており、令和５年度は合わせて市内企業９０社が参加しているほか、多くの企業においてインターンシップの受入をしていただいております。 また、小学校では市内企業等の見学、中学校では職場体験や市内の産業について講話、企業訪問を実施しております。 今後も、児童・生徒が地域の産業などに触れる機会を創出し、実際の職場環境や業務内容を体感することで地元就職につなげるとともに、企業と協力しながら、引き続き実施してまいります。								